

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健康やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	生活習慣病（がん・循環器疾患・糖尿病）対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	がん対策推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	がんの早期発見・早期治療を図るため、集団・個別方式で各種がん検診を実施している。個別検診を行っている大腸がん・胃がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん検診及び胃がん・肺がん集団検診の受診券を対象年齢の全市民に受診券として個人通知する。がん予防の普及啓発を図り、市民が受診しやすい環境を整備していく。また、働き盛り世代への受診啓発や女性の健康週間に合わせた啓発等を実施していく。				
2年度概要	<ul style="list-style-type: none"> がん予防の普及啓発 各種がん検診（胃、肺、大腸、子宮頸、乳、子宮、前立腺）の実施 がん検診受診勧奨（がん検診受診券の送付、未受診者への受診勧奨、精密検査未受診者に対する受診勧奨） 子宮頸がん予防ワクチン接種の実施 				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	がん検診の対象者
意図（どのような状態にしたいか）	がんの早期発見・早期治療に努め、がんによる死亡率の減少を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
がん検診の受診券発送数	枚	1,018,350	1,019,174	1,025,140		1,001,503

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
がん検診受診率（20歳～69歳）	%	目標値			60	55	55
		実績値			52.9		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 休日検診等受診しやすい環境づくりや、乳がん・子宮頸がん未受診者の再勧奨により、一定の効果は見られたが、目標値には達しなかった。	(目標達成度)						(達成度) 88.2%
		30点					
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	375,243	385,393	393,436	398,519
（事業費）	[円]	333,514	343,802	351,702	356,785
（職員人件費）	[円]	41,729	41,591	41,734	41,734

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

受診者の固定化・高齢化が見られるため、特に受診率の低い壮年期の世代に対して効果的な受診勧奨を行う必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民が受診しやすい環境の整備や、職域と連携した啓発、国民健康保険加入者を対象にした受診勧奨に取り組み、さらなる受診率向上を図る。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健康やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	生活習慣病（がん・循環器疾患・糖尿病）対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	健康づくり推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	40歳以上の市民が、健康かで、こころ豊かに暮らすことができるように、生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療の促進、寝たきり防止等のため、自主健康管理意識の啓発を行うとともに、健康教育・健康相談・健康診査の成人の健康づくり事業を実施し、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図る。		
2年度概要	各地区および保健センターにおいて、医師・歯科医師・保健師・歯科衛生士・栄養士等による健康教育・健康相談を実施する。40歳以上の対象者に健康診査（肝炎ウイルス検査、健康診査、成人歯科健康診査）を実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	



【事業の目的】

対象（何を）	40歳以上の市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民一人ひとりが主体的に健康づくりに努め、生活習慣病の予防・早期発見に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
健康教育の開催回数	回	378	418	373	350	350
健康相談の実施回数	回	120	171	141	200	200

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
健康教育の参加者数	人	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
		実績値	9,841	10,497	8,826		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 協会けんぽと連携し、企業に出向き健康教育・健康相談を実施したほか、中小企業等を対象にした健康づくりの表彰制度を新設し、壮年期の健康づくりの推進に努めたが、目標値には達しなかった。 							(達成度) 63.0% 22点
健康相談の参加者数	人	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
		実績値	6,476	6,177	5,802		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 協会けんぽと連携し、企業に出向き健康教育・健康相談を実施したほか、中小企業等を対象にした健康づくりの表彰制度を新設し、壮年期の健康づくりの推進に努めたが、目標値には達しなかった。 							(達成度) 77.4% 27点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	98,868	100,574	100,984	104,005
（事業費）	[円]	57,139	58,983	59,250	62,271
（職員人件費）	[円]	41,729	41,591	41,734	41,734

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
壮年期の参加者数の低迷や健康教室の開催場所の固定化が見られる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
健康経営に取り組む企業の認知度向上や、企業と連携した健康づくりの推進により、さらなる事業の活性化を図る。			